

9月14日 西久保・黒岩（西久保福祉館にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は矢印⇒です。

- 新庁舎建替えの総工事費が40億円が70億円になった。72億8千万円はどういう積算か。
⇒ 建設会社にヒアリングを行いました。各社に金額の幅があり、㎡単価70万円から150万円位の間でした。72億8千万円は、㎡単価112万円をもとに積算した金額に外構工事の費用を合算したものです。
- 事業選定委員会のメンバーにコンサルは入らないのか。町職員8名、有識者2名ではメンバーとして心配である。
⇒ コンサルは入りません。町民の皆様の御意見を反映させるべく、公募町民を2名加える条例改正案を提案しましたが、否決されました。選定委員会は公開で開催し、町民の皆様に見ていただき、ご意見もお伺いする予定です。また、基本設計の段階では、町民の皆様が参加する機会を設けます。
- 新庁舎に町民の意見を反映とあったが、どうやって反映させるのか。いろいろな人から異なる意見が出た場合にどう反映させるのか。
⇒ 町民の皆様から出たご意見は、町が意見反映について判断させていただきます。その結果についてはお知らせします。
- 新庁舎で収益をあげる考えはないか。例えば、平塚市だと税務署やコンビニが入っている。
⇒ 税務署は建設費を負担しており、収益にはなりません。コンビニは収益につながっています。新庁舎でもコンビニ等の誘致は検討を進めます。
- 大磯町の出生数は99人で、それで良いのかと思う。お金がないから出産しないのではないか。現在住んでいる人の出産層をターゲットにしても良いと感じる。新庁舎にお金を使うより、そういう手当に出した方が話題にもなるし、はるかに良い。お年寄りよりも若い人に目くばせしてほしい。産んでもらうことが一番大切である。
⇒ 令和8年度は出産をお祝いするような、分かりやすい対策を実施できるよう検討中です。
- ノジマでの映画についても行きたいと思うが、国府地区からはすぐ行く手段がない。国府地区への配慮がないので、考えてもらいたい。
⇒ 大磯まつりは国府地区で行っており、令和7年は18,500人が参加してくださいました。確かに大磯地区でのイベントが多いかもしれませんが。国府地区でどのようなイベントができるのか教えていただければ、お手伝いさせていただき、一緒に盛り上げて

いきたいと思います。

- 富士見地区は市街化調整区域で、さらに農振農用地が多い。農振農用地は土地利用が厳しい。農振農用地を維持していく考えは町にはあるのか。富士見地区は平らなところがなく、農振農用地にあっていないので、指定を外した方がよいと思っている。50年前にかけた時から時間が経っているので、農業をどうしていくかも含め見直しをしてもらいたい。農業生産高は他と比べて高いのか、そういう資料は何もない。地産地消もいいが、農業の実態を広報で特集するなど知ってもらって、維持できないのであれば見直しをもらいたい。

⇒ 生産高については統計がありませんが、作付面積などは別添のとおりです。

農振農用地は、農地の実態に即していないため、ご希望があれば外した方が良く考えているので、農地所有者のご意向も伺いながら、国と交渉していきます。

- イノシシ対策、富士見地区は多くの罠があり3週間に1頭くらいは罠にかかっている。大きな障害になっているのが、その場でイノシシを埋めなくてはいけないということである。3週間に1頭捕獲される状況で、埋めた土地はとんでもないことになりかねない。イノシシを捕まえたらその場で埋めることについて、ぜひ再検討してもらいたい。

⇒ 様々な情報を集め再検討した結果、イノシシを捕えたらその場で埋めるという扱いは見直す方向です。

- 農業を生業にするという視点がないのではないか。生業としての農業の継続性の担保のためにも農地保全の対策が必要である。

⇒ 地域計画を西久保や黒岩の皆さんの土地を対象に作っていくので、農業を継続したい方は続けていただいて、手放したい方から買っていただくとか借りていただき、農地が増えるのが望ましいと考えています。

- イノシシは人的被害もあるので、捕まえたら埋めなくてはいけないとか手続きが難しい。捕獲したものを食肉で扱えないか。うまく軌道に乗れば観光資源として売りになる。

⇒ イノシシを捕えた場合、その場で埋めなくても良いように来年度から見直す方向です。その先にジビエとして利用することが土俵に乗ってくると思います。豚熱が出る前、県議会議員をやっていたときは、ジビエを盛んにするため、2時間以内に処理するためのジビエカーを走らせる予算をとったこともありました。

- 電気柵をやめワイヤーフェンスにした。値段は3倍高いが、ワイヤーフェンスはきちんとやると完全にシャットアウトできる。町の補助は1つの畑で3万円が上限で、それでは到底足りない。農協は1つの事業者に対して3万円が上限で、自分で数十万円出す必要がある。しかし、ワイヤーフェンスはきちんとやれば、イノシシにやられる心配がなくなり非常に安心できる。町の補助の3万円では足りないので補助を強化してほしい。

⇒ 令和8年度から補助額を引き上げる方向で検討しています。

- 住民から防犯対策が必要という意見が出ている。対策の一番いい方法はきちんと機能する防犯カメラを設置することである。去年、黒岩では自販機が壊された。人通りのあるところとごみを捨てる場所に、防犯カメラを設置することを検討してもらいたい。にぎやかな三差路4カ所に設置してもらいたい。

⇒ 令和8年度は防犯カメラを増設する方向で検討中です。具体の設置場所については、各地区の区長さんと相談しています。

- イノシシの保護柵の関係だが、10年前は品物を買ってきて領収書を提出して、農協は3分の1、役場は3分の1の補助だったが、今は、前もってどこの畑を何㎡でいくらかかるかを前もって申請するシステムになっている。以前のように領収書による事後申請に戻せないのか。

⇒ 事後申請とするように見直す方向です。

- 町が富士見地区の農業者に地域計画のアンケートがあった。回答期限が切れていたのので農業委員会に電話したが、受付期限は終了といわれた。しかし、次の日にアンケートの回答がないので回答してほしいといわれた。また、アンケートはどう扱うのか。

⇒ それは申し訳ありませんでした。担当課にお伝えしました。アンケートは農家の方に今後の土地利用や農業継続の意思を確認し、地域計画に活かすためのものです。将来が明るくなるように考えていくためのアンケートですのでご協力をお願いします。

- 地域計画のことだが、内容の説明もしないでいきなりアンケートを送られても困る。回答率も30%と低い。事前に周知してからやってほしい。

⇒ 担当課から何の説明もなくアンケートを送られても困ってしまいますので、ご意見を伺えて良かったです。

- 回答率が低かったので電話をくれたと言っていた。アンケートを見てもどこをどうしているのかわからない。忙しいかもしれないが足を運んでもらい、顔を見ながら話してもらいたい。

⇒ 地域計画を作るという説明会を改めて開催させていただきました。

- 相模トラフが動いたら大変なことになると心配している。情報が入らないので、情報を収集して出してもらいたい。相模トラフは津波17メートルの想定で、町役場も危ない。

⇒ 地震にもいろいろ確率がありますが、情報が入り次第、速やかにご提供するようにします。

以上

近隣市町の農作物生産量（2020年農林業センサスデータ等を元に試算）

①・②は、「農林業センサス2020」の「販売目的の作物の類別作付（栽培）経営体数と作付（栽培）面積」より

作物名	大磯町		平塚市		二宮町	
	①作付経営体数	②作付面積 (a)	①作付経営体数	②作付面積 (a)	①作付経営体数	②作付面積 (a)
水稲	27.0	813.0	616.0	42818.0	-	-
小麦	-	-	2.0	x	-	-
そば	-	-	-	-	-	-
かんしょ	1.0	x	71.0	445.0	8.0	35.0
大豆	-	-	18.0	982.0	1.0	x
その他豆類	4.0	15.0	55.0	420.0	6.0	22.0
茶	-	-	-	-	-	-
だいこん	18.0	68.0	147.0	637.0	20.0	91.0
にんじん	13.0	53.0	57.0	299.0	4.0	16.0
さといも	13.0	44.0	209.0	2213.0	20.0	120.0
はくさい	14.0	59.0	116.0	537.0	18.0	44.0
キャベツ	21.0	252.0	103.0	691.7	12.0	29.0
ほうれんそう	14.0	72.0	120.0	1099.1	11.0	31.0
レタス	4.0	16.0	33.0	152.6	2.0	0.0
ねぎ	25.0	129.0	203.0	1586.0	18.0	84.0
たまねぎ	31.0	196.0	148.0	623.1	26.0	162.0
ブロッコリー	23.0	324.0	130.0	1362.6	15.0	47.0
きゅうり	21.0	397.4	107.0	1287.2	12.0	19.0
なす	8.0	24.0	97.0	357.0	15.0	50.0
トマト	9.0	88.0	69.0	563.4	10.0	29.0
ピーマン	-	0.0	26.0	65.0	5.0	9.0
いちご	1.0	0.0	20.0	296.4	1.0	0.0
メロン	-	0.0	3.0	0.0	1.0	0.0
すいか	-	0.0	9.0	31.0	2.0	0.0
その他野菜	23.0	487.0	176.0	2810.5	16.0	158.0
温州みかん	57.0	3946.0	3.0	40.0	35.0	1313.0
その他かんきつ	5.0	51.0	-	0.0	10.0	67.0
りんご	-	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0
ぶどう	-	0.0	8.0	164.0	-	0.0
日本なし	-	0.0	2.0	0.0	-	0.0
西洋なし	-	0.0	-	0.0	-	0.0
もも	x	0.0	x	0.0	x	0.0
おうとう	x	0.0	x	0.0	x	0.0
びわ	-	0.0	-	0.0	1.0	0.0
かき	15.0	276.0	28.0	328.0	6.0	39.0
くり	5.0	58.0	26.0	300.0	5.0	27.0
うめ	6.0	63.0	7.0	80.0	7.0	63.0
すもも	x	0.0	x	0.0	x	0.0
キウイフルーツ	4.0	41.0	4.0	33.0	6.0	59.0
パインアップル	-	0.0	-	0.0	-	0.0
その他果樹	4.0	52.0	3.0	52.0	4.0	241.0
花き類	5.0	70.3	48.0	971.6	5.0	8.0

【凡例】 -：皆無又は該当数字の無いもの ×：調査客体数が2以下で内訳値を秘匿する必要があるもの

【注1】 経済性標準指標に記載がなかったため、農水省HP「令和6年産みかんの結果樹面積、収穫量及び出荷量」より